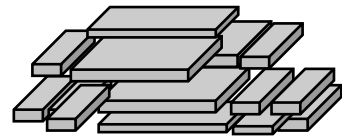
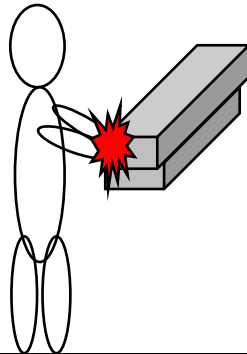


令和6年建設業災害事例①

災害状況概要

建設資材に手をはさまれたもの



発生月

作業内容

年齢

経験年数

1月

片付け作業

40代

6年

休業見込期間

傷病名

3か月

左示指中節骨開放骨折

事故の型

起因物

はさまれ、巻き込まれ

金属材料

災害発生状況

手作業にて建設資材の片付けを行っていたところ、建設資材に手をはさまれたもの

災害発生原因

急いで作業を終わらせようと、建設資材を不安定な状態のまま手作業で移動させたこと

再発防止対策

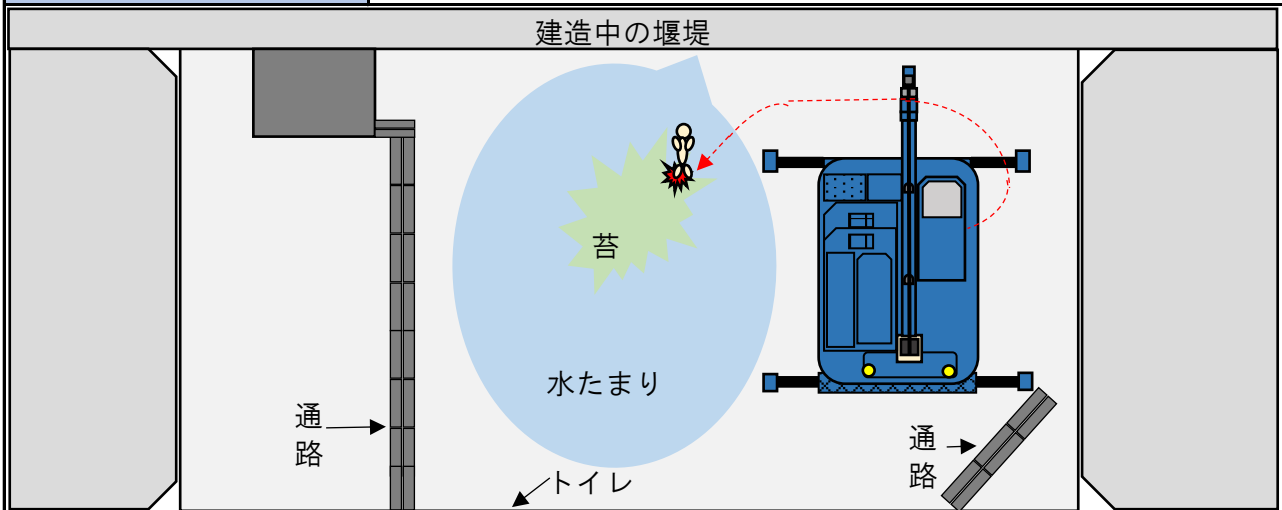
建設資材を移動させる前に、あらかじめ、荷が安定した状態かどうかを確認すること

また、荷の運搬を重機で行うなど、時間に余裕を持った作業方法への変更ができないか作業手順の見直しを行うこと

令和6年建設業災害事例②

災害状況概要

足を滑らせ転倒したもの



発生月	作業内容	年齢	経験年数
7月	運搬作業	50代	33年
休業見込期間		傷病名	
2か月		骨折	
事故の型		起因物	
転倒		通路	

災害発生状況

トイレに行くため、移動式クレーンから降り、コンクリート上を歩いていたところ、足を滑らせ転倒したもの（災害発生時、コンクリートには水溜まりができており、苔が生えていた。）

災害発生原因

- ・コンクリートの床面について、滑り、つまづき等の危険のないものとしていなかったこと
- ・作業場所に即した安全通路を設けていなかったこと

再発防止対策

- ・コンクリートの床面を適宜清掃するなどして、滑り、つまづき等の危険のないものとする
- ・作業場所に即した安全通路を設けること（移動式クレーンからどの位置で降りても、安全通路を通行できるようにすること。）